
JAIR Newsletter

No.149 October 2016

日本国際政治学会



<http://jair.or.jp/>

[目次]

巻頭言〔理事長挨拶〕	1	理事会便り	5
事務局よりのお知らせ	2	Q & A	6
組織図	2	編集後記	6
2017年度研究大会報告募集	4		

〔理事長挨拶〕 結節点の所在——固有の課題と共有の方法
石田 淳

法人の定款に従い、評議員候補者選挙の結果を踏まえて、2016年6月に、2012-16年期評議員会が評議員（任期4年）および役員たる理事・監事（いずれも任期2年）を選任、さらに今期理事会が理事長、副理事長、常任理事（事務局主任）を選定し、今後2年間の学会運営体制が整った。今年、創立60周年を迎える国際政治学会の理事長の任を委ねられたことは、光栄このうえない。微力以上のものは持ち合わせないことをお詫びしつつ、学会の知的活力と、個々の会員の学術活動との間に一層の好循環を生み出すために、是非とも会員の皆様のお力添えをお願い申し上げる次第である。

評議員候補者選挙における選挙権、被選挙権は、選挙実施時点で70歳を超えない会員に認められる（評議員候補者選出規程4条、5条）。それゆえに今回の選挙は、本学会にとっては初めての戦後世代だけの選挙となった。太平洋戦争の開戦原因の実証的解明——『太平洋戦争への道』（全七巻および別巻資料編、朝日新聞社、1962-63年）、その英訳版は *Japan's Road to the Pacific War, 5 Volumes* (Columbia University Press) ——という共通の関心事が一つの結節点であった学会創設から60周年を迎えたこの機に、本学会に集う諸会員を結び、繋ぐ結節点について考えておきたいと思う。

本学会は、組織原理からすれば典型的な「権力分掌 (power-sharing)」型の団体で、ともすれば遠心力が強く働く。21の研究分科会は、理論、歴史、地域、非国家主体の4ブロックに分類され、各ブロックを代表するブロック幹事は、その役職上、企画・研究委員会および編集委員会に出席し、研究大会の部会企画、学会誌の特集テーマの選択にも関与する。ここにも典型的にあらわれているように、学会の主要活動においてブロック間に一定の均衡が維持されてきたとも言える。

それならば、会員は、それぞれ特定ブロックにおける知の生産に特化し、その産物を自由に交換するべく、学会という知の市場に集うだけに過ぎないのかと言えば、そうではない。会員を結び、繋ぐものが本学会にはたしかにあるというのが私の実感である。

第一に、日本において意識される《固有の課題》もある。たとえば、第二次大戦の敗戦国たる日本にとっては、関係諸国との逐次的な関係修復が持つ安全保障上の効果がそれである。国際水準の国際政治学は基本的に戦勝国のそれであるため、敗戦国の安全保障に不可欠の、関係修復という難題を解く鍵は、出来合いの国際政治学のパラダイムには見出せない。日本では、国際社会への後発参入国だったがゆえに条約改正が課題化したように、敗戦国だったがゆえに関係修復が課題化したのである。

また第二に、会員の間には《共有の方法》もある。日本の場合、たとえばアメリカの場合とは一見して対照的に、教育カリキュラム編成においても、学術団体の組織においても、国際政治学は国際法学や外交史学と切断されてはいない。このことは、国際法学会（1897年設立）において、国際政治・外交史がその一ブロックを構成していることにも明らかだろう。この学際性ゆえに、日本の国際政治学は国際関係の社会性・歴史性に一定の学術的な感度を保ってきたのである。

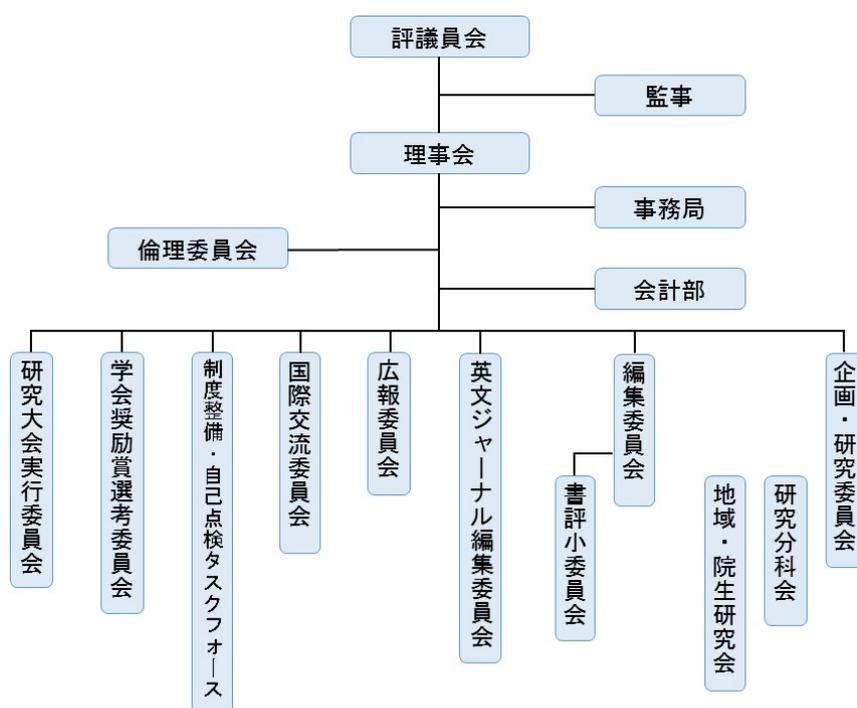
本学会の持つ、このような結節点の所在を見極めつつ、日本ならではの国際政治研究をこれまで以上に知的活力あるものとするを今期の目標としたい、と考えている。

事務局よりのお知らせ

1. 9月4日に開催された理事会において、14名の入会申し込みが承認されました。入会を承認された方々は初年度会費を納入してくださいませよう、お願いいたします。納入をもって正式に会員となります。
2. 同理事会において、学会奨励賞選考委員会の報告を受け、第9回学会奨励賞の受賞者を決定しました。受賞者と授賞理由は、研究大会の際の総会において発表されます。
3. また同理事会において、各委員会から委員の提案がなされ、承認されました。委員会委員については、このニューズレターに掲載されている組織図をご覧ください。委員が未定の委員会（TBAの記載のあるもの）については、更新され次第学会HPに掲載いたします。
4. 60周年記念研究大会の準備は、研究大会実行委員会、60周年記念部会企画委員会、企画・研究委員会、分科会責任者連絡会議ほか関係委員会のご尽力と相互協力のもとで順調に進んでいます。ただし、HPでもご案内差し上げておりますように、学会当日は会場近くの幕張近辺で大きなイベントが予定されています。そのため遠方からの参加者の宿泊先の確保が難しくなっている状況です。そこでJTBは日本橋付近に70室確保するとともに、幕張付近でも確保の可能性を引き続き模索しています。参加申し込みおよび宿泊先予約については、学会サイトから可能であるほか、外部サイト「るるぶ」からも予約可能となる予定です。さらにJRとのバックツア一型にすることも可能になる予定ですので、是非ご利用下さい。
5. 2016-2018期の学会事務局の場所と連絡先は、下記のとおりです。
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学・大学院総合文化研究科・国際社会科学専攻気付電話：03-5454-6490 e-mail：jair-jimu☆jair.or.jp（☆を@に置き換えてください）

2016-2018 年期理事長 石田 淳
2016-2018 年期事務局主任 遠藤 貢

一般財団法人日本国際政治学会 組織図 [2016年9月4日現在]



評議員	赤木完爾、大芝亮、吉川元、久保文明、国分良成、古城佳子、酒井啓子、添谷芳秀、 田所昌幸、田中明彦、中西寛、李鍾元
監事	太田宏、首藤もと子
理事会	石田淳（理事長）、佐々木卓也（副理事長）、遠藤貢（常任理事）、 飯田敬輔、石川卓、遠藤誠治、大島美穂、大矢根聡、都丸潤子、森井裕一、山田敦、 山田哲也
事務局	遠藤貢（主）、辻上奈美江（副） 小林哲（プログラム・マネージャー）、早坂麻友子、渡邊慶子（事務局アシスタント）
会計部	森井裕一（主）、小川浩之（副） 中里淳子（アシスタント）
倫理委員会	佐々木卓也（主）、TBA
企画・研究委員会	遠藤誠治（主）、山田哲也（副）、青野利彦、阿南友亮、葛谷彩、柄谷利恵子、西野純也、 宮城大蔵、湯川拓
研究分科会	研究分科会代表幹事：望月康恵 【ブロック幹事】 ブロックA（歴史系）：広瀬佳一、ブロックB（地域系）：加茂省三 ブロックC（理論系）：鈴木一敏、ブロックD（非国家主体系）：望月康恵
地域・ 院生研究会	赤川尚平（コーカス）、松崎英也（関東）、石井雅浩（関東副）、赤星聖（関西）、 加藤絢子（九州）、志田淳二郎（海外）
編集委員会 書評小委員会	大島美穂（主）、石川卓（副）、土佐弘之（副） 『国際政治』編集担当者 分科会ブロックA幹事、B幹事、C幹事、D幹事 土佐弘之（主）、浅野豊美、市川ひろみ、井上浩子、内田みどり、齋藤嘉臣、佐藤章、 鄭敬娥、末近浩太、前田幸男、三牧聖子
英文ジャーナル 編集委員会	飯田敬輔（主）、多湖淳（副）、伊豆山真理、岡垣知子、鈴木基史、佐藤洋一郎、川崎剛、 阪田恭代 事務スタッフ：郷古貴美子、北久美子
広報委員会	山田敦（主）、牧野久美子（副） 小林哲（ウェブ担当）
国際交流委員会	都丸潤子（主）、金ゼンマ（副）、永井史男、中村英俊、森聡
制度整備・自己点検 タスクフォース	大矢根聡（主）、TBA
学会奨励賞選考委員 会	TBA
研究大会実行委員会	2016年度 山田哲也（幕張大会主任） 2017年度 佐渡紀子（神戸大会主任） 2018年度 永野隆行（大宮大会主任）

研究分科会責任者連絡会議			
A ブロック (歴史系)		B ブロック (地域系)	
日本外交史	熊本史雄	ロシア東欧	小森宏美
東アジア国際政治史	阿南友亮	東アジア	加茂具樹
欧州国際政治史・欧州研究	広瀬佳一	東南アジア	板谷大世
アメリカ政治外交	倉科一希	中東	辻上奈美江
		ラテンアメリカ	岡部恭宣
		アフリカ	加茂省三
C ブロック (理論系)		D ブロック (非国家主体系)	
理論と方法	鈴木一敏	国際交流	飯森明子
国際統合	中村英俊	トランスナショナル	明石純一
安全保障	鶴岡路人	国連研究	望月康恵
国際政治経済	和田洋典	平和研究	佐藤史郎
政策決定	吉崎知典	ジェンダー	森田豊子
		環境	毛利勝彦
若手研究者・院生研コーカス		赤川尚平	

注記：本学会は、役員給与・退職金などを一切支給していません。

2017 年度研究大会 部会企画・自由論題報告募集のお知らせ

2017 年度研究大会（神戸国際会議場、2017 年 10 月 27 日～10 月 29 日）での部会企画の提案および自由論題（部会）の報告希望を募集致します。

昨年よりも 1 ヶ月程度締め切りを遅めに設定させていただいております。

応募に必要な事項は以下の通りです。応募に際して、報告者についての下記の内規を確認していただくようお願い致します。なお部会（自由論題部会を含む）での報告者には、ペーパーの提出が義務づけられています。

(1) 締め切り：2016 年 12 月 16 日（金）（必着）

送付方法：応募は e-mail、FAX、郵送のいずれかの方法となります。

送付先：

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊大学法学部 遠藤誠治

email：endo☆law.seikei.ac.jp（☆を@に置き換えてください）

電話：0422-37-3617

Fax：0422-37-3876

送付の際、「日本国際政治学会 2017 年度研究大会部会企画・報告募集」と明記していただきますようお願い申し上げます。

(2) 応募に必要な事項

部会企画案

(i) テーマ

(ii) 趣旨（800 字～1200 字程度）

(iii) 報告者、司会者、討論者、などを記すこと。

自由論題報告案

(i) テーマ

(ii) 要旨（800 字～1200 字程度）などを記すこと。

部会企画の提案者もしくは自由論題の報告希望者のいずれも、氏名、所属、職名、連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレス）を記すこと。

応募用紙は、学会 HP にてダウンロードできます。

(3) なお、部会参加に関しては、以下の事項が内規に定められておりますので、ご注意ください。

1. 部会参加者は、原則として、会員及び入会申請中の者とする。
2. 一般会員が、部会及び自由論題部会において報告を行う場合、応募時において過去二年間（2015 年度、2016 年度）に開催された研究大会の部会で報告を行った会員（申請中を含む）は、報告者の候補たりえない。この原則は司会者及び討論者については適用されないものとするが、なるべく同じ会員の登壇は控えることとする。
3. 学生会員が、部会及び自由論題部会において報告を行う場合、応募時において過去一年間（2016 年度）に開催された研究大会の部会で報告を行う会員（申請中を含む）は、報告者の候補たりえない。この原則は司会者及び討論者については適用されないものとするが、なるべく同じ会員の登壇は控えることとする。
4. 自由論題部会にて報告を行う場合、上記の 2. 及び 3. に加え、応募時において過去二年間（2015 年度、2016 年度）に開催された研究大会の分科会で報告を行っていない会員（申請中を含む）、学生会員の場合は過去一年（2016 年度）の大会で報告していない会員が優先される。

企画・研究委員会主任 遠藤誠治

理事会便り

編集委員会からのお知らせ

1. 新理事会の発足に伴い、2016～2018 年期は主任大島美穂、副主任石川卓の体制となりました。以下にございます編集主任、副主任へのご連絡はすべて jair-edit@jair.or.jp 宛にお願いします（メール送付の際は、☆を@に修正してください）。
2. 2018 年度『国際政治』刊行予定についてご案内いたします。特集タイトルはすべて仮題です。
 - ・193 号「歴史の中の国際平和機構」（編集：篠原初枝会員）
 - ・194 号「体制移行と暴力—世界秩序の行方」（編集：土佐弘之会員）
 - ・195 号「関係回復の論理と実証」（編集：泉川泰博会員）特集の趣旨、募集案内は学会 Web ページから「編集委員会」に入ってください（<http://jair.or.jp/committee/henshu.html>）。会員の皆様の積極的なご応募をお願いします。
3. 独立論文は随時応募を受け付けています。こちらもぜひ奮ってご応募ください。執筆要領等の詳細は学会 Web ページ「論文投稿等関係（http://jair.or.jp/documents/rules_for_papers.html）」に掲載されている『国際政治』掲載原稿執筆要領をご覧ください。応募・問い合わせ先は、編集委員会副主任：石川卓までお願いします。
4. 『国際政治』は特集論文、独立論文とも査読プロセスを経ていきます。執筆から掲載までに一定の修正が求められることが多く、時間とエネルギーを要するプロセスですが、論文の質の向上には確実に貢献していると考えています。会員各位にはなお一層積極的な投稿および再投稿をお願いします。また、編集委員会より査読をお願いした際には、多くの会員に快くお引き受け頂いており、心より感謝しております。引き続きお力添えを賜りますよう、お願いします。
5. J-stage での『国際政治』電子版では、刊行後 2 年以内の号の論文について、購読者番号とパスワードを用いた会員限定の閲覧を行っています。2016 年 9 月現在で、182 号（2015 年 11 月刊行）までの閲覧が可能です。購読者番号とパスワードは、紙媒体ニューズレター146 号に掲載されていますが、会費納入用紙、『国際政治』等、各種の郵便物とともにお知らせしていきます。
6. 『国際政治』に掲載した論文を執筆者が転載（複製利用）する場合、ご自身の著書等に利用される際は、事前に文書で理事長に申し出てください。またリポジトリ等に掲載される際は、編集委員会主任に申し出てください（『国際政治』掲載原稿執筆要領 1-(6)・(8)）。前者については、学会 Web ページに掲載している申請書をご利用ください（<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/tensaikyoka.pdf>）。双方とも連絡は編集委員会主任大島美穂までお願いいたします。

編集委員会主任 大島美穂
副主任 石川 卓

英文ジャーナル編集委員会からのお知らせ

例年のように、英文ジャーナル編集委員会では、幕張研究大会でも IRAP セミナーを開催いたします。今回は、本誌の Senior Executive Editor の John Ikenberry 教授に、国際ジャーナルへの投稿のコツについてお話しいただきます。一般会員との質疑応答も行いますので、ふるってご参加ください。

日時：2016年10月15日（土）12:00-12:45

会場：幕張メッセ国際会議場 103 号室

英文ジャーナル編集委員会主任 飯田敬輔

広報委員会からのお知らせ

学会 HP では、会員の皆様からのシンポジウム等のお知らせや新刊紹介などを随時掲載しております。情報交換・共有の場としてご活用ください。掲載を希望される場合は、HP 右側のメインメニューの「お知らせ投稿フォーム」をご利用のうえ、ご投稿ください。統一的な記録を残していく必要があるため、お手数をおかけしますが、上記の「お知らせ投稿フォーム」への記載をお願いできれば幸いです。パスワードにつきましては、紙媒体ニューズレター146号に掲載されていますが、今後は、会費納入用紙、『国際政治』等、各種の郵便物とともにお知らせいたします。

その他、ニューズレターやHP に関してお問い合わせ等がありましたら、広報委員会(jair-pr☆jair.or.jp)にご連絡ください。

広報委員会主任 山田敦

Q & A 学会報告ペーパーの入手方法

Q: 幕張大会での報告ペーパーは、どうすれば入手できますか。

A: 学会ホームページから、1つずつダウンロードできます。<http://jair.or.jp/event/2016index.html> をご覧ください。ダウンロードできないのは、期日までに提出されなかったペーパーです。

Q: パスワードは？

A: すでに会員に郵送した研究大会の案内（深緑色の暫定プログラム）の p. 10 に記してあります。

Q: いつまでダウンロードできますか。

A: 大会当日はもちろん、大会終了から約2週間後までダウンロードできます。今回は10月31日までの予定です。大会前に未提出のペーパーも、大会後に掲載されている場合があります。

(広報委員会)

役立つ情報や話題を提供してまいります。ニューズレターは148号から電子版のみとなりました。電子版の利点を活かした誌面づくりを模索中です。アイデアやご要望をぜひお寄せください。(AY)

2014～16年度に引き続き、広報委員会副主任を務めることになりました。今後2年間、山田主任、小林さんとともに、ニューズレターや学会HPを通じた会員間の情報共有、コミュニケーションの充実に、微力ながら貢献してまいりたいと思っております。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(KM)

日本国際政治学会ニューズレターNo. 149
(2016年10月5日発行)

発行人 石田 淳
編集人 山田 敦・牧野 久美子
〒186-8601 東京都国立市中 2-1
一橋大学法学研究科
山田敦研究室 jair-pr☆jair.or.jp

■編集後記

今号から新体制でお届けします（とはいえスタッフは経験豊かな面々です）。引き続き、会員の皆様に